2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月９日

上 場 会 社 名	ＺＥＴＡ株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	6031	URL	https://zeta.inc
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長CEO	（氏名）	山﨑　徳之
問合せ先責任者	（役職名） 取締役CFO	（氏名）	森川　和之　（TEL）03-5779-6250
配当支払開始予定日	ー		

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　　（機関投資家・アナリスト・個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	1,102	△11.5	33	△78.6	△1	ー	△3	ー
2025年12月期第３四半期	1,245	ー	155	ー	139	ー	77	ー

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　　△6百万円（　　ー%）　2025年12月期第３四半期　　81百万円（　　ー%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	△0.16	ー
2025年12月期第３四半期	3.77	3.77

（注1）2024年12月期は決算期変更により2024年７月１日から2024年12月31日までの６ヶ月間の変則決算となっております。このため、前第３四半期（2025年１月１日から2025年９月30日）の比較対象となる2024年12月期第３四半期の四半期連結財務諸表は作成していないため、2025年12月期第３四半期の対前年四半期増減率は記載しておりません。

（注2）2026年12月期第３四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、１株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	2,889	816	28.1
2025年12月期	2,984	920	30.7

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　　811百万円　　2025年12月期　　915百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	0.00	ー	4.40	4.40
2026年12月期	ー	0.00	ー		
2026年12月期(予想)				4.50	4.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,100	13.0	500	26.2	472	27.8	305	32.0	14.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

（注）業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ３．「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　ー社（社名）　ー　　、除外　　ー社（社名）　ー

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	25,768,600株	2025年12月期	25,768,600株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	5,369,060株	2025年12月期	5,336,860株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	20,418,425株	2025年12月期３Ｑ	20,618,933株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ３.「１.当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（重要な後発事象） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

デジタルマーケティング市場で国内Ｎo.１を目指す当社グループは、企業と消費者のエンゲージメントを高めて幸福な購買体験を実現するため、CX改善サービス「ZETA CXシリーズ」の開発・販売に注力しております。

主にハイエンドのEC事業者に向けて、新規クライアントの開拓及び既存クライアントへのクロスセル・アップセルが順調に推移していること、またZETA CXシリーズの製品間のシナジー効果の高まりを背景に、ZETA CXシリーズの需要は高まっております。国内のEC市場は引き続き拡大基調にあり、そうした対象マーケットの成長も追い風となっております。

こうした事業環境のもと、受注面は引き続き堅調に推移しており、当第３四半期の受注高は前年同期比4.1%減となったものの、前期の四半期平均を上回る水準を維持しております。また、当第３四半期連結累計期間の受注高につきましても前年同期比5.4%増となり、高単価案件へのシフトとともに堅調な増加基調を維持しております。

経営成績については、過年度繰越売上の計上額が前年同期に比べ437百万円減少した影響により、累計では前年同期比で減収減益となりました。一方、過年度繰越売上の影響を除いたオーガニックな売上高は前年同期比39.1%増加しております。売上総利益率は前年同期と同水準の79.1%となり、販売費及び一般管理費は前年同期比1.1%増にとどまりました。なお、当第３四半期連結会計期間におきましては、売上高は312百万円（前年同期比2.5%増）と前年同期を上回るとともに、営業損失は34百万円（前年同期は51百万円の営業損失）となり、損失幅が17百万円縮小しております。

当第３四半期連結累計期間における売上高は1,102,007千円（前年同期比11.5%減）、営業利益は33,306千円（前年同期比78.6%減）となりました。また、東京証券取引所スタンダード市場への市場区分変更に伴う市場変更費用（14,550千円）を営業外費用に計上したことや、借入金の増加に伴い支払利息が21,801千円（前年同期比9,200千円増）に増加したことなどにより、経常損失は1,768千円（前年同期は139,689千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は3,232千円（前年同期は77,785千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

当社グループは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

（２）財政状態に関する説明

（流動資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末より20,995千円減少し、2,172,760千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金が180,062千円増加したものの、売掛金が230,939千円減少したことによるものであります。

（固定資産）

当第３四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末より69,967千円減少し、710,494千円となりました。その主な内訳は、顧客関連資産が57,750千円減少したことによるものであります。

（繰延資産）

当第３四半期連結会計期間末における繰延資産は、前連結会計年度末より3,302千円減少し、6,699千円となりました。その主な内訳は、社債発行費が3,212千円減少したことによるものであります。

（流動負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末より30,836千円減少し、807,177千円となりました。その主な内訳は、１年内返済予定の長期借入金が85,264千円増加したものの、流動負債の「その他」に含まれる未払消費税等が87,941千円減少したことによるものであります。

（固定負債）

当第３四半期連結会計期間末における固定負債は前連結会計年度末より40,580千円増加し、1,266,511千円となりました。その主な内訳は、社債が107,000千円減少したものの、長期借入金が144,836千円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末より104,008千円減少し、816,266千円となりました。その主な内訳は、配当金の支払い等により利益剰余金が93,132千円減少したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期通期の連結業績予想につきましては、2026年２月９日に公表いたしました業績予想から変更はございません。当第３四半期連結累計期間における通期計画に対する進捗率は、売上高で52.5%、営業利益で6.7%となっておりますが、当社グループの売上高及び利益は、第４四半期に大きく偏重する収益構造となっております。加えて、昨今の情報漏洩事故等を背景に各社のセキュリティ対応への優先度が高まり、案件の長期化が見られたことから、当第３四半期において計上を見込んでいた一部案件の検収時期が第４四半期へずれ込んだことも、進捗率に影響しております。通期業績予想の達成に向けましては、第４四半期において計上を見込んでいる案件の検収が計画どおり完了することを前提としており、期初予想を据え置いております。

また、併せて本日開示した決算説明資料もご覧ください。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,652,661	1,832,724
売掛金	392,110	161,171
仕掛品	537	1,991
前払費用	24,958	32,443
その他	123,487	144,430
流動資産合計	2,193,755	2,172,760
固定資産		
有形固定資産		
建物	50,130	50,445
減価償却累計額	△27,662	△33,823
建物（純額）	22,467	16,622
工具、器具及び備品	81,425	80,959
減価償却累計額	△52,648	△56,923
工具、器具及び備品（純額）	28,777	24,036
リース資産	6,690	10,557
減価償却累計額	△4,457	△5,257
リース資産（純額）	2,233	5,299
有形固定資産合計	53,478	45,958
無形固定資産		
のれん	3,071	2,671
顧客関連資産	442,750	385,000
その他	0	0
無形固定資産合計	445,821	387,671
投資その他の資産		
投資有価証券	41,593	38,333
敷金	67,838	67,838
繰延税金資産	170,262	169,056
その他	1,467	1,636
投資その他の資産合計	281,161	276,864
固定資産合計	780,461	710,494
繰延資産		
社債発行費	9,455	6,243
創立費	547	456
繰延資産合計	10,002	6,699
資産合計	2,984,220	2,889,954

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,112	23,697
１年内償還予定の社債	234,000	212,000
１年内返済予定の長期借入金	309,840	395,104
リース債務	697	1,510
未払法人税等	127	553
契約負債	119,053	137,275
株主優待引当金	2,739	－
その他	138,442	37,035
流動負債合計	838,013	807,177
固定負債		
社債	312,000	205,000
長期借入金	892,439	1,037,275
リース債務	1,780	4,478
資産除去債務	19,710	19,757
固定負債合計	1,225,930	1,266,511
負債合計	2,063,944	2,073,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	96,776	96,776
資本剰余金	1,513,516	1,513,516
利益剰余金	406,141	313,008
自己株式	△1,097,138	△1,104,755
株主資本合計	919,295	818,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,917	△7,176
その他の包括利益累計額合計	△3,917	△7,176
新株予約権	4,897	4,897
純資産合計	920,275	816,266
負債純資産合計	2,984,220	2,889,954

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	1,245,652	1,102,007
売上原価	260,623	230,393
売上総利益	985,029	871,613
販売費及び一般管理費	829,602	838,307
営業利益	155,427	33,306
営業外収益		
受取利息	1,888	4,525
受取配当金	1	1
雑収入	695	1,677
営業外収益合計	2,585	6,203
営業外費用		
支払利息	12,601	21,801
為替差損	1	7
社債発行費償却	4,038	3,212
社債保証費	1,280	898
リース解約損	－	637
市場変更費用	－	14,550
その他	400	171
営業外費用合計	18,323	41,279
経常利益又は経常損失（△）	139,689	△1,768
特別利益		
固定資産売却益	942	988
投資有価証券売却益	23,709	－
特別利益合計	24,651	988
特別損失		
固定資産除却損	129	－
過年度決算訂正関連費用	35,802	－
特別損失合計	35,931	－
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	128,408	△780
法人税、住民税及び事業税	770	1,245
法人税等調整額	49,852	1,206
法人税等合計	50,623	2,452
四半期純利益又は四半期純損失（△）	77,785	△3,232
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	77,785	△3,232

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	77,785	△3,232
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,736	△3,259
その他の包括利益合計	3,736	△3,259
四半期包括利益	81,522	△6,492
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	81,522	△6,492

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社グループは、「デジタルマーケティングソリューション事業」のみであり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第３四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれん及び顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれん償却額及び顧客関連資産償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
減価償却費	19,195千円	17,443千円
のれん償却費	400千円	400千円
顧客関連資産償却費	57,750千円	57,750千円

（重要な後発事象）

該当事項はありません。